

第10号

平成9年
11月1日

題字
植木 満支部長

東進

発行所

土浦一高東進会

茨城県立土浦一高
進修同窓会
東京支部

事務局 〒160 東京都新宿区新宿2-2-10 サニープラザ新宿御苑1102
大野金一法律事務所内 ☎03-3357-4311 FAX 03-3357-4312



平成9年度総会当番学年(昭38卒)の宮本誠之氏から次年度当番学年(昭39卒の)
加固哲夫氏へ引き継ぎの握手

平成10年 土浦一高東進会 総会・懇親会 開催日程決定!!

●平成10年6月6日(土)

午後1時～午後4時

●東京プリンスホテル

(港区芝公園3-3-1)

●イベント

土浦出身のエレキギターの神様

寺内タケシとブルージーンズ

出演予定!!

※尚、詳細につきましては別途皆様へご連絡いたします。

総会を終えて

平成九年度の総会が六月二十八日(土)に東京プリンスホテルにおいて、百四十名の参集で盛況のうちに終了いたしました。当番幹事宮本誠之氏(昭38卒)の開会宣言で始まり、植木満会長(昭8卒)のご挨拶、大野金一理事長(昭31卒)による一年間の活動の報告がなされ、続いて決算承認、監査報告、予算案承認、役員承認を経て、青山校長、長南教頭から母校の近況を、本部同窓会役員の木島幸夫氏から進修同窓会の近況を詳細にご報告頂きました。

土方登志子副会長(昭32卒)の閉会の言葉で総会は幕となり、直ちに中島穰氏(昭38卒)の開会宣言で懇親会となり、全員が、在校時に住んでいた地区別のグループに分けた六テーブルに各々移動します。

司会者の福永友保氏(昭38卒)の挨拶、芳尾敬一副会長(昭28卒)の乾杯の音頭の後、グループ別のテーブルで歓談に入りました。イベントの福引は、受付で名前、住所、卒業年度を記入したカードを景品提供者が箱から引き、名前を読み、景品を手渡すという方法で楽しみました。最後に幕内邦夫理事(昭43卒)のリードで校歌を斉唱し、露木修副会長(昭31卒)の閉会の挨拶があり、盛会のうちに終了いたしました。



歓談する芳尾副会長(左)



各テーブルにビールを持って挨拶をする植木会長(右から2人目)



総会の終了間際、出席者の戸田一俊氏(38卒)、戸田(旧姓湯本)雅子氏(39卒)ご夫妻が紹介され、皆さんの注目を浴びました。

雅子さんは、東進会学年幹事として会員のために何かと貢献してくださっていましたが、二年前(平成七年十一月末)に脳内出血で倒れました。二ヵ月間意識不明でしたが、奇跡的に意識が回復し、ご家族の献身的な介護のもと、現在では車椅子ながらも外出出来るまでになりました。

今回は、ご住居が会場の東京プリンスのごく近くで、雅子さんの皆さんのお顔をぜひ見たいという強い意志もあって、娘さんもご一緒にご夫婦で参加してくださいとのことでした。

出席者全員から感動の温かい拍手が送られました。

(高16回・昭39卒) 江崎 久枝



抽選会の発表に拍手をする大野理事長（前左）：田村副理事長（前右）



校歌を斉唱する加固哲夫氏（右端）



イベント抽選会 景品に微笑む西川恵美子氏



女性最若年出席者の永沼成子氏



初参加者の挨拶 左から柳沢賢一氏、坂本謙二氏、田崎洋氏、丹羽秀男氏

東進会との遭遇

受付前の人の波は、堂々たる先輩方ばかり。見渡せど、近い年齢と思しき同窓の姿はなく、その場に留まることも躊躇され、引き返そうかとさえ思う。東進会からのはじめてのお誘いを受けて年次総会に伺った六月二十八日は、そんな雨の土曜日であった。かつての同級生や、その後の大学、社会生活で知遇を得た同窓の方々とは、東京でも気のおけないお付き合いをさせて頂いている。そうした機会を通じ、酒食のとり方一つをとっても、世代間の差異は決して小さくないことを痛感させられている。若輩が、僅か一度の総会参加経験で論を展開するのは、誠に僭越ながら、若干の感想を記すことをお許し頂くとすれば、

- 一、会場がいささか勝ちすぎではなからうか。
- 二、多数の賞品提供は、一部の会員の方に過重なご負担となつてはいまいか。
- 三、一流ホテルの立食とは申せ、会費の水準が若年層には高すぎないであろうか。

例えば、従来よりも参加費を抑えることを大前提に、参加者相互の自然なやりとりが醸し出せるもう少しじんまりとした規模の会場で、飲み物と乾きものの提供程度にとどめ、むしろ閉会後の同級生や同世代を中心とする自由な二次会の誘い水となるような総会を期待するのは、いささか現実的に過ぎようか。

（高29回・昭52卒）柳沢賢一

私とお酒

「酒は百薬の長」と言うが、又、「氣違水」とも云う。その酒に付き合っ
て、もう五十年余になる。戦時中、友
人の壮行会で飲んだ酒や、元日にご来
光を拝みながら、筑波山頂で飲んだ酒
など、古い事が思い出される。

然し、若い時は、旨い不味いはとも
かく飲めばよかった。仕事の関係で国
内各所を歩き、数多くの種類を飲んで
いるが、何処で何飲んだのか、全く覚
えていない。

銘柄や造りに魅かれるようになって、
まだ十年位のもの。昭和六十二年に、
銀座の日産ギャラリーの九階で日本で
只一人のお酒のプロジェクター「関谷
健二」の「お酒の個展」と云うのが開
かれて招待状を戴いた。絵画や彫刻の
個展なら判るが、「お酒の個展」とは
何なのか、好奇心も手伝って出掛けて
みた。

会場は割合混雑していて、二十本の
一升瓶が飾られ、蔵元から来た五人の
杜氏が、来客の質問に応じて応対して
いた。その横には試飲コーナーがあっ
て、端麗辛口の「関谷健二の二十人の
子」を味わい、これが縁で関谷さんと
お近づきになり、毎春行われる酒蔵見
学会も、これまでに十指に余るほどに
なり、今年も二月に、多治見の「三千
盛」と飛騨古川の「白真弓」の二つの
岐阜の蔵を見て参りました。酒造りの

工程は、昔も今も変わりありませんが、
蔵によって酒に特徴があるのは、その
蔵のしきたりや、心構えの表れだと思
います。この二つの蔵は、実に気持ち
良く整頓がされていることと、精米歩
合が50%以上ということでした。この
ように、今はどんどん良いお酒が造ら
れており、名の知れない銘柄でも美味
しいものがあります。私は殆ど燗酒を
飲みませんが、燗を付けることによっ
て香りも立ち、旨味を増すものもあり
ます。又、古酒は一度飲んで懲りたん
ですが、先日薦められたのは、リキユ
ルの様な酒でした。



総会の二次会で楽しむ篠田氏
(右から三人目)

漬物と健康

酒は既成の概念や評判に捕われるこ
となく自分の舌で好みを決るべきだと
思います。

(旧中45回・昭20卒) 篠田 康
※篠田氏は「銀座十五番街 食味会つ
れづれの記」と題する本を出版してお
ります。

日本の食卓には必ず漬物があります。
おばあちゃんの味、おふくろの味、昔
から漬物とは塩からいものでしたが今
は塩分を5%以下におさえ健康食品と
して見直されました。最近では漬物の
ものがサラダ感覚で食されています。先
ずは身近な漬物として梅干と菜京を取
上げてみましょう。

中国では梅は漢方薬の原料です。梅
の半熟果をあぶって干した生薬を烏梅
と云います。梅の効用の素はクエン酸
強い抗菌作用と整腸作用があり、新陳
代謝を促進して疲労回復に役立ち、消
化液の分泌をうながします。

菜京は漢方では心臓病の薬に処方さ
れます。のびる、にんにく、ねぎ、に
ら、とともに五辛と呼ばれ、畑の薬
の異名があります。この五辛にはビタ
ミンB₁の吸収率を高め、細菌を抑える
作用があります。又風の初期症状をし
ずめ、消炎作用もあるので、喉や口内
の炎症にも有効です。

漬物の効用は多々ありますが、又の



漬物を紹介する山藤氏

機会と致します。漬物のように噛みし
めて噛みしめて味のある生活を送るこ
とを願いつつ……。

(旧中48回・昭23卒) 山藤 和夫



楽しい総会二次会

同窓会のこと

「あなたの高校はどこですか。」
職場に新しい人が入って来ると、よくそう質問したものでした。大抵は酒を飲みながらでしたけれども。

「都立の〇〇です。」なんて、都立高校の名前が出ると「そう、あなたのところは、駄目ですね」とぼささり切り捨てる。

相手は何でそんなことをいわれたのか分からず先ず変な顔をしていますね。「甲子園に出ていないね。高校は勉強が良くて進学率が高いばかりじゃ駄目なんだね。甲子園大会に出場したかどうかが重要なんですよ。」というのと、やっと冗談も通じて安心する。

ついでのことに、小生の母校は土浦一高で昭和三年の夏の大会に出場していることもさりげなく付け加える。(本当に良かった、出場していて。こんな生意気なことが言えます。当時の選手に感謝、感謝です。)ともかく、甲子園大会については関心のない人はほとんどおりませんので、そこでひとしきり話は弾むという寸法なんです。しかし、余談ですが地方の公立名門校といわれるところは大概出てますね。大阪の北野高校(旧府立一中)も出ています。秋田高校なんて、旧制中学時代ではありますが第一回大会(鳴尾)の準優勝校ですよ。その点東京は駄目ですね。旧制中学時代を含めても府立・

都立で出ているのは、あの国立高校しかありません。だから都立と聞いたら「駄目」といいますね。

まあ、この話術はうまく出身高校を聞き出す方法ではありませんね。

出身高校が分かると、かなりの部分、その人の生い立ちが分かれます。大抵の場合その学校の所在地の生れ育ちでしょう。極端に言えば、何を食べていたのか、どんな景色を見ていたのか、どんな人を尊敬していたのか、あらまし見当がつく。長野の人とは「蜂の子」を食べる話をする。郷愁がありますから、喜々として話をしますね。そう、お互いに早く理解しあえるようになります。その点、出身大学は大抵の場合公表されていますし、また高校に比べたら香り高い情報は少ないですね。

そんなことはどうでも宜しいのですが、同窓会というのは学校名を聞けば生れ、育ち、学びが分かるといったような要素を共有するものの集まりなんです。そして、当然のことながらその中でも共通の経験を数多く共有しているほうが結束が固い。従って東進会でもすぐ同年代が集まって来る。

いや、悪くいっているのではありません。いいことですよ。当然ですよ。しかし、それだけじゃもったいないので学年間の交流をもっと活発にしようとする。いや本当にご苦労さんですよ。

共通の経験といえ、あの物理が出来なかった」とか、「〇〇先生に怒

られたなあ」とか当時困ったことの経験を共有しているのは特に仲間意識が強いですね。友情が熱いですよ。

ともかく、東進会には、たくさんの方にこそお願いいただき、昔を語り今を論じ友情を深めたいものです。

なんとなく、もっともらしいことを申し上げましたが、ともかく同窓会は理屈の世界じゃないんですね。オリンピックで日の丸が上がると、大概の日本人はなんとなく心踊る気持ちになる。日本の誰かがノーベル賞を受賞すると心ほのかになる。それと同じなんです。甲子園に出ると鬼の首をとったような気持ちになる。この社会をきざな言葉でいいますと精神的ゲームインシャフト。なに、言葉遣いが違うって。まあ、勘弁してください。飾り言葉ですよ。

日本経済新聞に「私の履歴書」というコラムがありますね。昨年二月に兼松名誉顧問の鈴木英夫氏が書いておられました、その中にこんな文章がありました。

「私は現在、沼津東高・旧中学の同窓会、東京香陵会の会長をしているが、毎年の総会は銀座のホテルで聞かれ、五百名を超す同窓生が集う。」

そして、こう言っているんですよ。

「日本一の同窓会と自負している。」
東進会も植木会長のお陰で、東京香陵会以上の会場で総会を開催させていただいておりますが、残念ながら参加人数が違いすぎます。人数が多いからなんだとも思いますが、それは若干負

け惜しみのきらいがあります。
是非とも東京香陵会を凌駕する参加者で、ああ会場が困るか、植木会長を困らせる程の人数で氣勢を上げたいものです。

ところで、日経の「私の履歴書」には、進修同窓会の大先輩で三菱電機の社長・会長をなされた高杉晋一さんもお書きになっておられます。旧制土中のこともかなり触れておられますよ。
最後にその中の一部を引用させていただきます。終りといえます。

「(前略) われわれは、郷里で飯を食い教育を受けて今に至っており、郷里から非常に恩恵を受けている。」

(高8回・昭31卒) 露木 修



総会での露木氏 (右から二人目)

楽しかった暑氣払い

去る七月三〇日(水)、四十名の会員が一堂に会し、暑氣払いを催しました。会場は、靖国神社のはすむかいにあるイタリアレストラシ「アクトレス」。都会の真ん中に位置する場所にもかかわらず、何故かその一角だけが涼しげな緑の風情が漂う可憐なお店。重厚な扉をそっと開けると、優しい美人店主のお出迎え。テーブルにはすでに色あざやかな料理の数々とお酒が用意されており、演出効果はバッチリ。おまけにのみ放題とあっては、自然と頬も揺るんでしまう編集員(長戸)。

会は、大野理事長のご挨拶に始まり、山口進氏(昭20卒)の乾杯の音頭をさかんに、賑やかに進められてゆきました。堅苦しいことは抜きにしてという事で、自由気ままなとても楽しい親睦会になりました。西川恵美子氏(昭29卒)、土方登幸子氏(昭32卒)はじめ多くの美しい女性陣の出席は、会の雰囲気より艶やかに、涼しげに盛り上げてくれるものでした。二次会は、会で親しくなったグループ毎に三々五々、暑さの残る夜道に消えてゆきました。次回は、植木会長、芳尾副会長をお迎えして、盛大な新年会を予定しております。多くの会員の方たちの出席を期待しております。どうぞ宜しくお願いたします。

(高18回・昭41卒)長戸 琴



親睦会での面々、大野氏、中島氏、西川氏、長戸氏、坪井氏、渡辺氏、江崎氏、篠田氏、山口氏

牛久駅に 平成寺小屋出現?

私の出身地は、牛久市と土浦市の市境で「つくば科学万博」のときにシャトルバスの発着所になった万博中央駅のそばです。

この駅は一旦取壊されましたが、いま住都公団が駅を新設し、これを中心に第一期目標一万五千人の都市計画(区画整理)事業を行っています。名付けて「国際交流都市ひたち野中央」。この新駅が来年三月に完成し、直ちに営業を開始します。駅東南地区には駅開業に合わせてJR東日本のマンションと戸建住宅が建築中で、つくば学園都市と成田への路線バスも走ります。

私は、前から牛久に小学生向けの寺小屋を作ろうと考えていました。大都會ではムリですが、小学生時代にやっておかなければならないこと、それは外国人、とくに米国人のナマの言葉に触れさせること、それにハンドボール協会に参与した者として世界に通用する選手の育成、とくに可能性のあるのは女子、その投てきの力をつけさせることです。男の子にはやはりサッカーです。

英語の文法や論理的思考は高校からでもいいと思いますが、基本的な言葉とコミュニケーションは小中学生の頃から身体で習得させなければなりません。

スポーツをやらせるのは、たくましい人間を作るためです。学校から帰ってからただ塾に行って勉強するだけ。家で一人ゲームをしたり、テレビを見て過ごすだけといった一定の形にはめられた人間、無気力な人間は、もう今世紀まででいいです。二一世紀に向けて国際化時代にふさわしい人間を作っていくかなければなりません。

昔、我々の時代にしたように、毎日暗くなるまで外で遊んだり、家の手伝いをしたりして、暗くなればある程度は勉強をする。このような体験をこの寺小屋でさせたいと思います。

ただ、まだ構想の段階で取りあえずは地元の生徒を集め、集落の講師(子供たちの遊び友達程度)は、筑波大学の留学生を頼もうと考えていますが、塾を管理してくれるスタッフが問題です。

私自身、週末にどれだけ牛久に帰れるかおぼつかない状況では、ずっと先の話になりかねません。

(高8回・昭31卒)大野 金一



總會二次会 大野氏を囲んで

私の近況

時のたつのは早いもので大学を卒業し当時の国鉄に入社して以来今年で十五年が経過しました。昭和六十二年に国鉄が分割・民営化されてからずっと J R 東海において人事・労務関係の仕軍に携わってききましたが、昨年の六月から毛色の違う秘書室に勤務となり、副室長として社長を初めとした役員の方々のお世話をしています。

最近では、整備新幹線や国鉄長期債務問題等の問題が万が一にも誤った方向へいくことのないよう、役員の方々とともに官邸や議員会館回りをやっています。人間というものが元来物忘れしやすい生き物なのか。わざと忘れようとしているのかわかりませんが、昭和六十二年の国鉄の分割・民営化の際の「(長期債務負担についての)責任分担」をそっちのけにしての短絡的な議論には本当に辟易しています。せめてもの救いは、マスコミがこの問題を正確に理解し報道してくれていることでしょうか。

J R 東海は、平成九年十月八日に株式を上場します。新たに株主となって頂く方々の期待を裏切ることのないよう真の意味で安定した経営をめざし努力して参る所存です。皆様方のご支援をお願いいたします。

(高 28 回・昭 51 卒) 藤川 紳

東進会ゴルフコンペ

去る七月二十六日(土)、高根 CC で猛暑の中で行われた。キャンセルが相次ぎ九名になってしまったが、和気あいあいのうちに楽しいコンペになった。植木会長から優勝杯と二位、三位賞の杯をいただき、さらに砂山嘉幸氏からたぐさんのスポーツシャツや高級ウイスキーをダンボール一箱頂戴した。優勝は今年度総会で司会を勤めた上野健夫氏、二位は大野理事長、三位は露木副会長だったが、これは新ペリア方式によるもの。

今回は、広く声をかけられなかったが、次回をもっと多くの人に出て貰いたいので、希望者は事務局まで一報下さい。



露木修副会長から
植木会長杯をうける上野健夫氏



ゴルフコンペ参加の皆さん

会員いんふおめーしょん

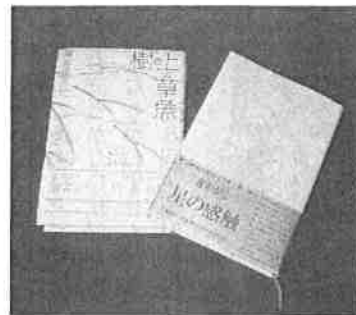
薄井ゆうじ氏の本の紹介

- 一九六七年土浦一高卒業(高 19 回)
- 一九八八年「残像少年」で第五十一回小説現代新人賞を受賞
- 一九九四年「樹の上の草魚」(講談社)で第十五回吉川英治文学新人賞を受賞

著書として

- 「天使猫のいる部屋」(徳間書店)
- 「くじらの降る森」「竜宮の乙姫の元結いの切りはずし」(講談社文庫)
- 「青の時間」(文芸春秋)
- 「午後の足音が

- 僕にしたこと」(マガジンハウス)
- 「雨の扉」(光文社)
- 「満月物語」(ベネッセコーポレーション)
- 「星の感触」
- 「透明な方舟」
- 「北陸幻夢譚」
- 「台風娘」
- 「神々のパラドックス」(講談社)



編集後記

第九回総会では高十五回卒業の幹事の皆様でした。次回は高十六回(昭 39)卒業の幹事の皆さんです。期待しています。今号(第十号)は健康に関する記事を主に載せましたが、できましたら継続してゆきたいと思っております。若い方からも原稿を頂きまして、今後も多くの声を反映してゆきたいと存じます。また、会員の方々の近況、情報等がありましたら、事務局までお知らせ下さい。

事務局

〒160 東京都新宿区新宿二二二ー一〇

サニープラザ新宿御苑一ー一〇二

大野金一法律事務所内

土浦一高東進会

最後に皆様のご健康とご活躍をお祈りいたします。(久松)